

第3章 事業対象地について

3.1 市の玄関口

新猪ノ鼻道路と一般国道32号線のクロスポイント近くにある約1haの遊休地（市所有地）を活用して、地域の課題や周辺状況に対応し、住民の意向や利用者ニーズに沿った地域の活性化を目的とした新たな観光スポットとして、また、市の玄関として「道の駅」を計画します。

■住所：三好市池田町州津

■面積：約1ha

■アクセス環境

- JR阿波池田駅から自動車利用で10分程度
- 徳島自動車道井川池田ICから2分程度
- 新猪ノ鼻道路開通により、香川県側からの移動が10分程度短縮

■通行量

- 現猪ノ鼻トンネル 平日4,700台、休日5,700台
- 国道32号線州津付近 平日7,500台、休日5,000台
- 徳島自動車道 井川池田IC付近 平日7,800台、休日9,900台、GW20,000台

■高松空港利用者数 [2017（平成29）年]

- 空港利用者数195.3万人（前年比5.3%増）
- 国内線 東京線154.5万人（前年比2.7%増）（羽田線と成田線の合計）
那覇線12.9万人（前年比4.8%増）
- 国際線 ソウル線6.6万人、上海線7.6万人、台北線7.4万人、香港線6.2万人
- 外国人入国者数 11.8万人

■徳島空港利用者数 [2017（平成29）年]

- 空港利用者数112.7万人（前年比5.2%増）
- 国内線 羽田線108.8万人（前年比4.9%増）
福岡線2.9万人（前年比2.0%減）

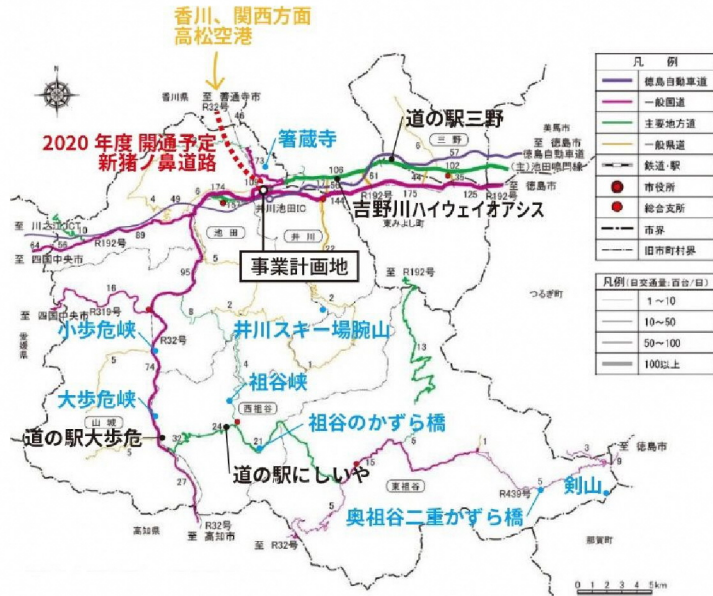
■香川県観光客 [2017（平成29）年]

- 延べ宿泊者数 375.8万人泊（前年比0.6%減）
- 外国人延べ宿泊数 48.2万人泊（前年比34.6%増）

○主要観光地入込数 514.8万人（前年比1.6%増）

■徳島県観光客 [2017（平成 29）年]

- 延べ宿泊者数 229.8 万人泊（前年比 3.6%減）
- 外国人延べ宿泊者数 10.3 万人泊（前年比 48.0%増）
- 主要観光地入込数 325.3 万人（前年比 8.5%減）



出典：都市マスタープラン/三好市（一部加筆）

道路網図と主な観光地の位置関係

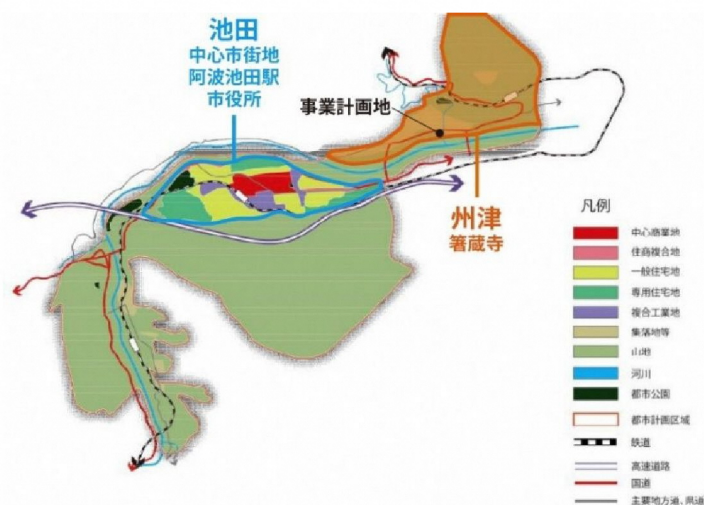
3.2 池田町州津エリア

事業計画地は、池田地域の都市計画区域内に位置しており、J R 阿波池田駅を中心とした池田中心市街地の東側、州津エリアにあります。

州津エリアは、地域再生計画（三好市生涯活躍のまちづくり計画）に認定されており、地域力向上や持続可能なまちづくり（地域資源の活用、関係人口づくり等）の実現に向け取り組んでいます。



市域図



出典：都市マスタープラン/三好市（一部加筆）

都市計画区域との関係

3.3 周辺の施設立地（予定）状況の整理

事業対象地は、三好市池田町州津の吉野川に面して位置しており、本計画と同じ国道32号線沿いの事業計画地西側において、生涯活躍のまちづくり事業による地域交流拠点施設「箸蔵とことん」が整備されました。

また国道32号線を挟んだ反対側には、社会福祉法人が運営する福祉施設が点在し、鮎苦谷川を挟んだ対岸には、ゲートボール場（市有地）があります。



周辺の施設立地状況

■ 地域交流拠点施設「箸蔵とことん」（生涯活躍のまちづくり事業）

福祉の里で培われた「ほっとかない心」、「とことんの心」で、地域の拠り所や安らぎの場として暮らしを支えるとともに、「つくる、動く、なりわいが生まれる」をコンセプトに地域産業を支え、雇用を生み地域経済の活性化や次世代につなぐ活動が取り組まれる拠点です。

施設機能には、以下のようなものがあります。

- 産直機能等
 - ・産直市、地産地消、新鮮、こだわり商品の販売
 - ・土産品、小間物店、福祉物産品（郷土手作り品）の販売
 - ・生活用品の販売
- 食品販売及び体験機能
 - ・食堂 三好市健幸条例の基本理念に基づく健康食の提供
 - ・パン（ブランド商品）の加工販売
 - ・地域素材を使った加工体験など
- 子育て支援機能（子育て世帯の交流促進）
- 暮らしサポート機能（買い物弱者支援、日常の困りごと支援）
- 移住を前提とした滞在・交流・福祉等の体験機能
- インキュベーション（起業支援活動）機能
- 多世代交流機能（移住者や住民との交流を目的としたカフェ）

3.4 箸蔵寺とお遍路さん

事業対象地の北東約1.5kmに、地域の名称である「箸蔵」の元となった箸蔵寺が位置しています。本殿、護摩殿、方丈、薬師堂、鐘楼堂、天神社本殿と、6つの建物が国の重要文化財に指定されており、仁王門と高灯籠、手水舎、中門は、国の登録有形文化財にも指定を受けています。箸蔵寺は、金毘羅宮（香川県仲多度郡琴平町）の奥の院として親しまれ、お遍路さんとともに多くの参拝客が訪れています。



出典：http://www.hashikura.or.jp

箸蔵寺の縁起

真言宗別格本山箸蔵寺は、箸蔵山600mの山頂にあり、約1200年の昔、弘法大師がこの地で修行された折、金毘羅大権現のお告げを受け、本尊として箸蔵寺をお開きになったお寺です。以来、杉、桧が鬱蒼と茂る中に国指定重要文化財（2004年指定）の本殿、薬師堂、護摩堂等30余の建物が点在し、左甚五郎の弟子の作と言われる彫刻と箸の寺として全国より参拝客が訪れています。また、四国別格霊場二十ヶ寺の15番札所、四国三十六不動霊場第4番札所としても多くのお遍路さんが参拝に訪れています。

出典：「こんびら奥の院 箸蔵山」パンフレット/別格本山箸蔵寺

3.5 現地調査



1.西側ボックスカルバート



2.中央ボックスカルバート



3.北側景観 山並みが見える



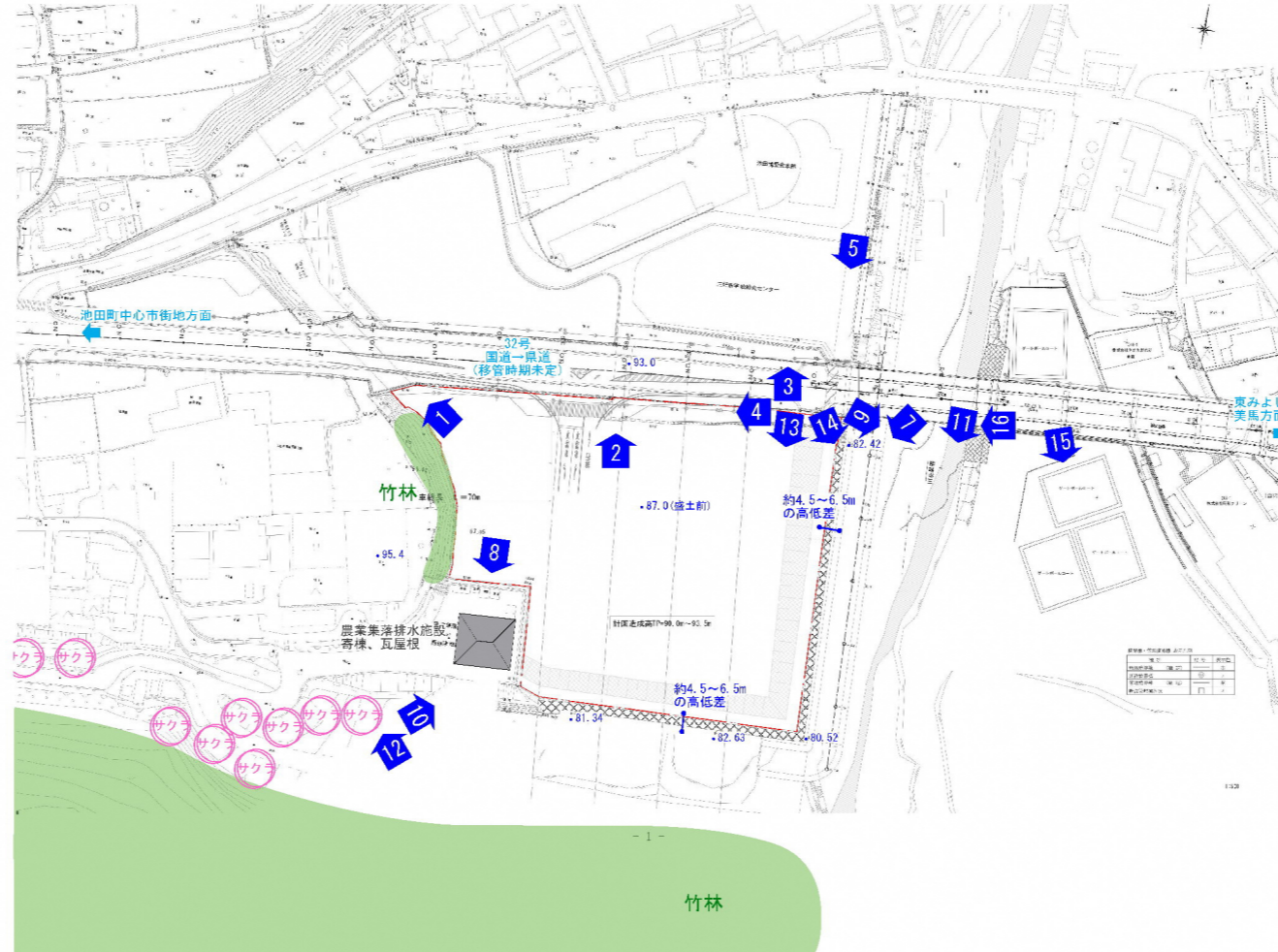
4.西方向を見る 盛土が搬入されている



5.東側ボックスカルバート



6.西側丘 法面が竹で覆われている



7.東側擁壁



8.農業集落排水施設



9.鮎苦谷川対岸方向を見る



10.南側擁壁



11.鮎苦谷川



12.サクラの木



13.南方向を見る



14.南東方向を見る 山並みが続いている



15.鮎苦谷川対岸はゲートボール場になっている



16.橋の上から敷地方向を見る

